

製品名: PPP2R5E ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87605**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:200-1:1000,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:55 kDa; Observed MW:55 kDa

抗原情報

遺伝子名	PPP2R5E
別名	B56E; B56epsilon
遺伝子 ID	5529
SwissProt ID	Q16537
免疫原	ヒト PPP2R5E の合成ペプチド

背景

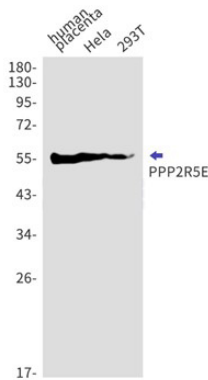
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホスファターゼ 2A 調節サブユニット B ファミリーに属します。タンパク質ホスファ

ターゼ 2A は、4つの主要なセリン/スレオニンホスファターゼの1つであり、細胞の成長と分裂の負の制御に関与しています。共通のヘテロ多量体コア酵素から成り、このコア酵素は触媒サブユニットと定常調節サブユニットから構成され、定常調節サブユニットは様々な調節サブユニットと会合します。B 調節サブユニットは、基質選択性と触媒活性を調節すると考えられます。この遺伝子は、調節サブユニット B56 サブファミリーのイプシロンアイソフォームをコードします。この遺伝子には、複数の異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2013年8月]

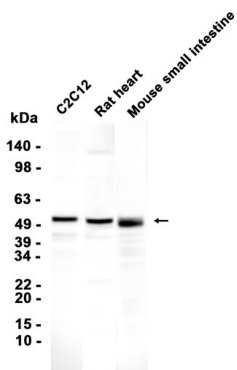
研究分野

-

画像データ



PPP2R5E 抗体 (1:1000 希釈) を使用したヒト胎盤、Hela、293T 細胞溶解物中の PPP2R5E のウエスタンブロット検出。



AMRe87605 を 1:2000 で使用して、C2C12 細胞およびラットの心臓、マウスの小腸組織からの抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。